

おめでとうございます

平成24年11月3日付けで、雨矢紀一さんと江本竹乙さんが旭日双光章を、原田隼人さんと前田順一さんが瑞宝単光章を受章されました。

旭日双光章受章

あまや
雨矢 紀一さん
(71歳、寿町)

雨矢さんは、昭和62年5月に田川市議会議員に初当選し、連続6期24年の永きにわたり市議会議員を務め、その卓越した政治手腕とあふれる実行力により、住民福祉の増進に尽力されました。

また、総務文教委員会委員長や2期にわたる監査委員などの要職を歴任し、豊富な経験と優れた見識により、市政の振興発展、地方自治の進展などに貢献されました。

中でも、15年10か月にわたり所属した総務文教委員会では、平成3年に筑豊地区初の公立美術館として竣工した田川市美術館の建設や、経年劣化が進んでいた田川青少年文化ホールの大規模改修などについて意を注ぎ、本市の文化施策において多大なる貢献を果たされました。

雨矢さんは「今回の受章は大変励みになります。市議会議員としての経験をいかし、これからも田川市発展のために頑張っていきたいと思います」と話しました。

旭日双光章受章

えもと
江本 竹乙さん
(84歳、会社町)

江本さんは、昭和48年4月に田川交通安全協会の理事に就任され、以来39年の永きにわたり地域における交通安全活動に寄与されました。平成9年には、田川交通安全協会の会長に就任され、平成24年6月からは、(勸)福岡県交通安全協会の副会長も歴任し、田川地域はもちろんのこと、福岡県内の交通安全対策に尽力されました。

中でも、田川交通安全協会の理事に就任した2年後の昭和50年には、大浦小学校に「交通安全少年隊」を結成。隊の制服を着た同校の6年生が通学路などに立つて下級生の通学を見守る活動は現在も継続され、ご自身も広報車に乗り「安全運転を心掛けましょう」などと呼びかける啓発活動を続けられています。

江本さんは「身に余る光栄です。周囲のみなさんの協力や家族の理解のおかげで、長年務めることができました。大変感謝しています」と話しました。

瑞宝単光章受章

はらだ
原田 隼人さん
(71歳、弓削田)

原田さんは、昭和35年に福岡県警察官を拝命以来、39年の永きにわたり警察各般において多くの業績を残され、公共の安全と秩序の維持に尽くされ、特に、少年警察部門において活躍され、その功績が認められました。

昭和36年に、田川市の栄町交番に勤務。その後も田川警察署や直方警察署、飯塚警察署などの防犯課少年係において、青少年の健全育成や非行防止に尽力されました。

平成12年の退職後は、飯塚市の嘱託職員として、主にオートレース場での暴力団対策などに従事され、平成19年4月から田川市のスクールガードリーダーとして、また、現在は田川市の安全・安心まちづくり指導員として活躍され、地域の安全安心に寄与されています。

原田さんは「思いがけない受章で感謝しています。職場の同僚や上司、そして家族の支えのおかげです」と話しました。

瑞宝単光章受章

まえだ
前田 順一さん
(71歳、平岡)

前田さんは、昭和39年に福岡県警察官を拝命以来、37年の永きにわたり警察各般において多くの業績を残され、公共の安全と秩序の維持に尽くされ、特に、刑事警察部門において活躍され、その功績が認められました。

昭和40年からは、大牟田警察署、折尾警察署、宮田(現・宮若)警察署、直方警察署、戸畑警察署において、その経歴のほとんどで刑事課に勤務され、強盗などの凶悪犯罪の解決に尽力されました。

平成13年の退職後、平成19年から地元平岡公民館で書道教室の講師を務められ、平成23年度からは平岡公民館長や平岡区副区長に就任。また、平成20年度には田川交通安全協会の理事にも就任され、広く地域の発展に貢献されています。

前田さんは「仕事に対して真剣に取り組んできた結果が今回の受章につながったと思います。家族の支えがあったおかげです」と話しました。

